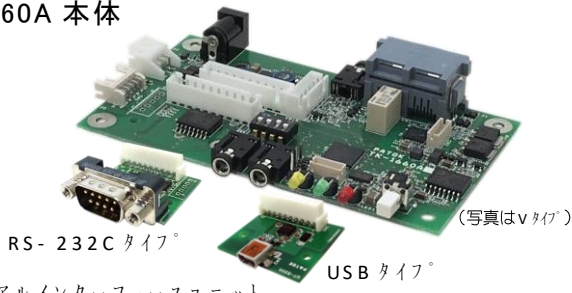


TK- 1660A と TK- 7590A

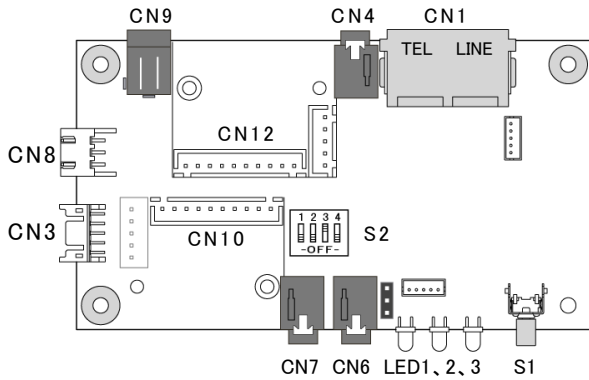
それぞれのユニットには音声メモリー搭載の「Vタイプ」もあります

TK-1660A 本体



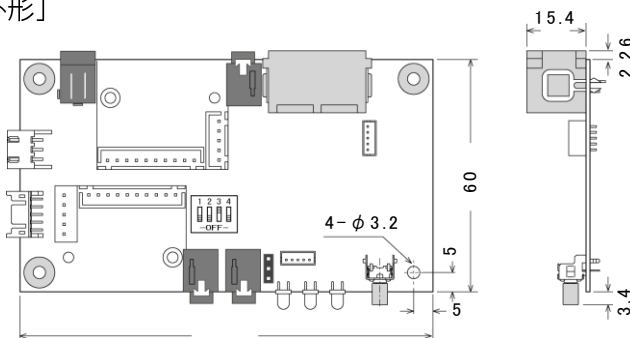
シリアルインターフェースユニット

[部品配置]



CN1	LINE:電話回線、TEL:併設電話機
CN3	アナログ電圧制御入力
CN4	モニター出力
CN6	AF IN (送話音声を入力)
CN7	AF OUT (受話音声を出力)
CN8	バックアップ電源入力
CN9	電源入力(2.5φ センタープラス)
CN10	シリアルインターフェース入出力
CN12	オプション接続端子
LED1	電源/回線断線検知
LED2	回線モニター
LED3	呼出信号モニター
S1	回線切断/セットモード
S2	ダイヤル方法/自動着信等の設定

[外形]

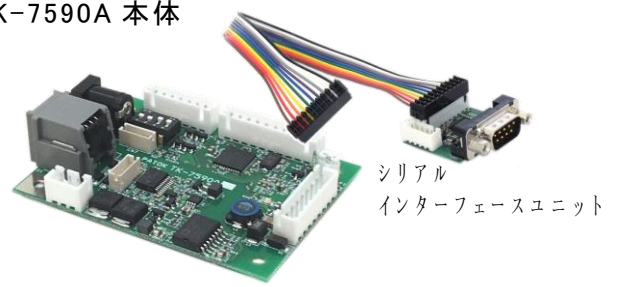


(単位 = mm)

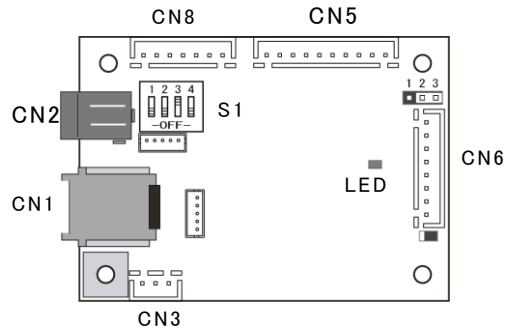
[電源]

DC5~24V(最大 30V) (オプション接続時は DC9~15V)
400mA 以下(DC5V、無負荷)、200mA 以下(DC12V、無負荷)

TK-7590A 本体

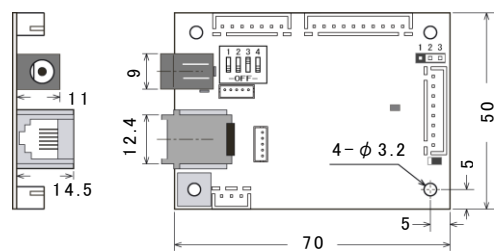


[部品配置]



CN1	電話回線
CN2	電源入力(2.5φセンタープラス)
CN3	回線出力
CN5	マトリクス入力/シリアルインターフェース入出力
CN6	信号入・出力
CN8	制御入・出力
LED	フックモニター
S1	ダイヤル方法/自動着信等の設定

[外形]



(単位 = mm)

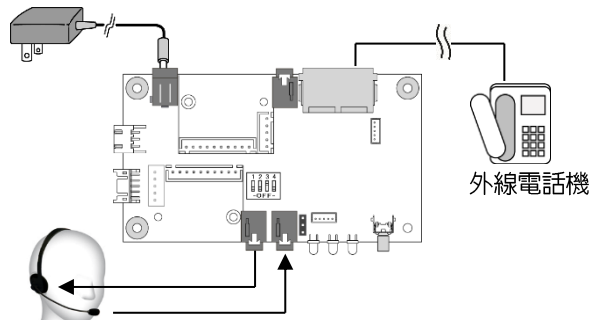
[電源]

DC5~24V(最大 30V) (オプション接続時は DC12V)
200mA 以下(DC5V、無負荷)、80mA 以下(DC12V、無負荷)

▼自動着信

設定回数のコールで自動着信し、回線接続を行います

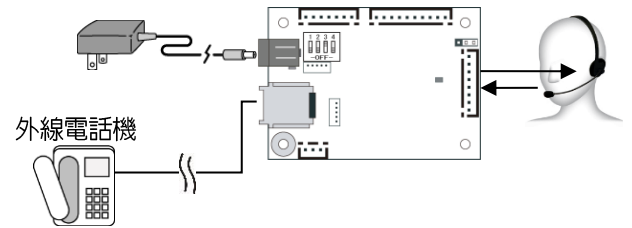
「登録電話番号」のみ自動着信ではナンバーディスプレイ回線に接続します



※(ACアダプターは以降の解説図では標記を省略します)

参考設定例集(ATコマンド編、設定ソフト編)

■「自動着信と識別自動着信」参照



※(ACアダプターは以降の解説図では標記を省略します)

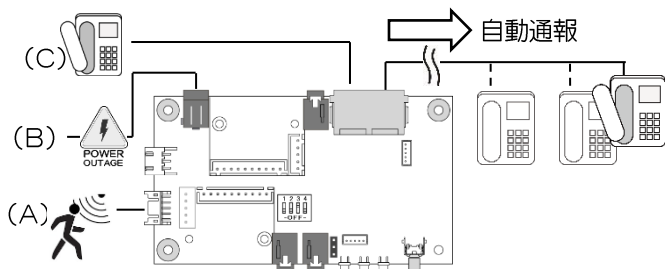
参考設定例集(ATコマンド編、設定ソフト編)

■「自動着信と識別自動着信」参照

▼自動通報

登録された電話番号に自動発信します

通報の方法には①「誰か一人の応答確認」、②「誰か一人の暗証番号確認」、③「全員の応答確認」の中から設定できます

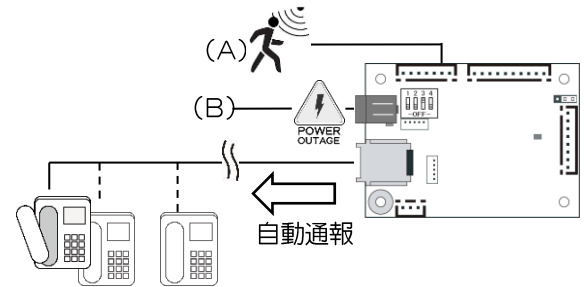


通報の要件としては

- (A)外部入力の変化があったとき
- (B)設置場所の停電が発生したとき
- (C)併設電話機をオフフックしたとき

参考設定例集(ATコマンド編、設定ソフト編)

■「グループ通報」参照



通報の要件としては

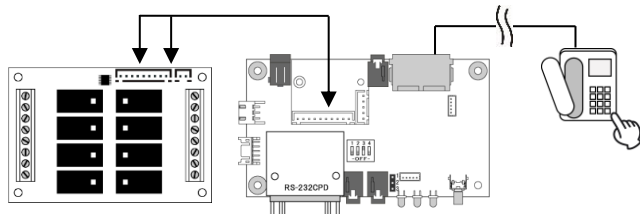
- (A)外部入力の変化があったとき
- (B)設置場所の停電が発生したとき

参考設定例集(ATコマンド編、設定ソフト編)

■「グループ通報」参照

▼遠隔操作

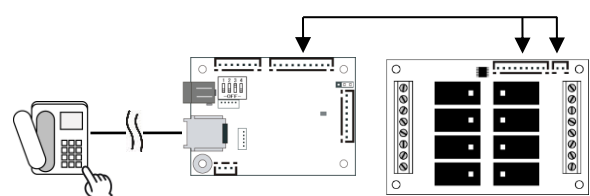
外線電話機のプッシュボタン操作で、機器のON/OFF操作を行います



8回路リレーボード
(オプション TK-9610BT)

参考設定例集(ATコマンド編、設定ソフト編)

■「プッシュボタン操作でON/OFFを行う」参照



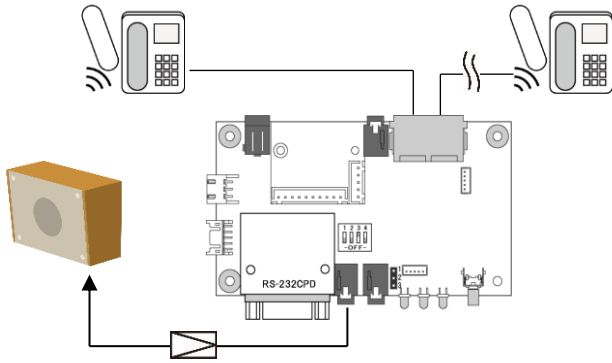
8回路リレーボード
(オプション TK-9610BT)

参考設定例集(ATコマンド編、設定ソフト編)

■「プッシュボタン操作でON/OFFを行う」参照

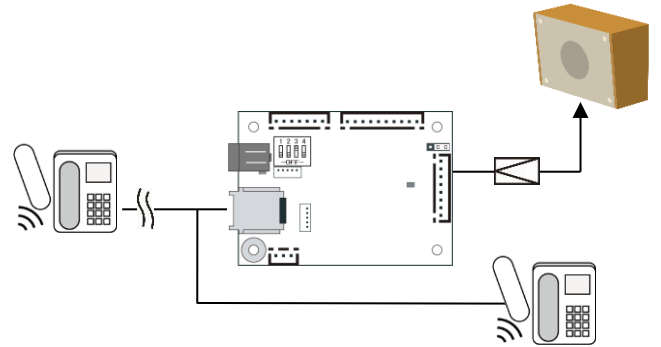
▼回線モニター

回線上の音声をモニターし、AF OUT端子より出力します
通話録音や、第三者と通話を共有する場合等に利用可能です



参考設定例集(ATコマンド編、設定ソフト編)

■ 「回線モニター」 参照

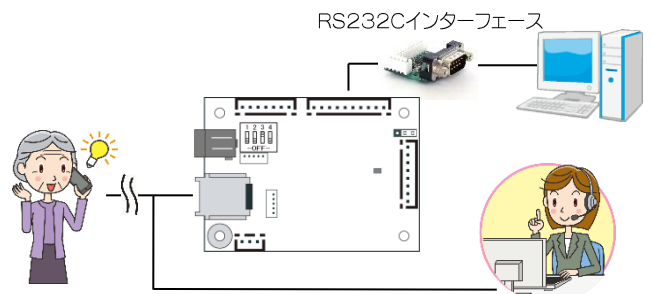
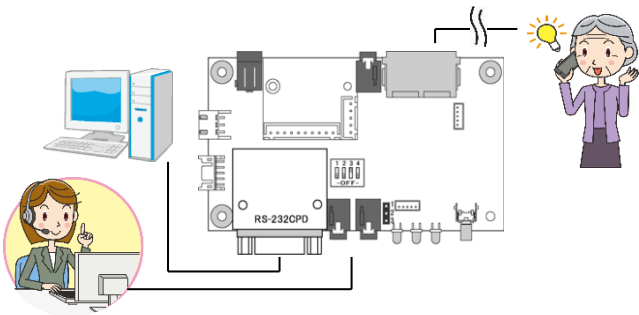


参考設定例集(ATコマンド編、設定ソフト編)

■ 「回線モニター」 参照

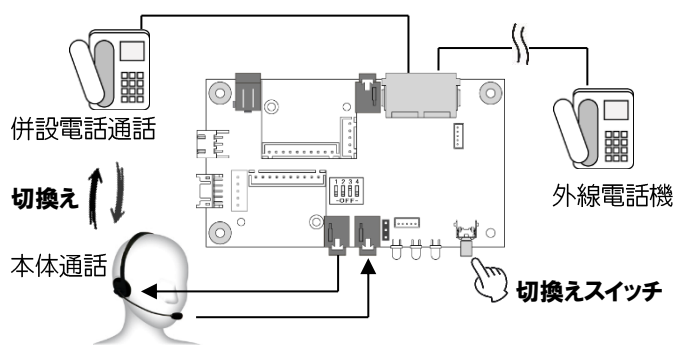
▼ナンバーディスプレイ

電話回線に接続してナンバーディスプレイの「着信電話番号」を抽出してパソコンに取り込めます。
お使いの顧客管理データベースや顧客管理ソフトと連動させることによって、電話がかかると相手情報をパソコン画面にポップアップさせることができます。
また、TK-1660ではパソコンに接続されたモデムを用いて電話をかけることができます。



▼回線通話を[本装置]と[併設電話機]で切換えて使う

外線電話機からの通話を、本体に接続したヘッドセットと、TEL端子に接続された併設電話機とで、切換えて行います



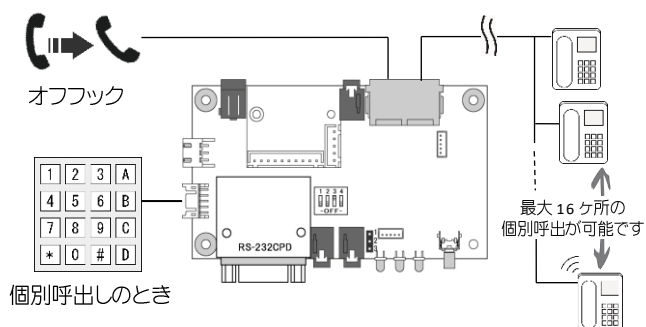
参考設定例集(ATコマンド編、設定ソフト編)

■「併設電話機の使い方あれこれ」参照

▼オフフックダイヤル

併設電話機のオフフックで外線発信を行います

また、テンキーを併用することで最大16ヶ所の個別呼出しが可能です

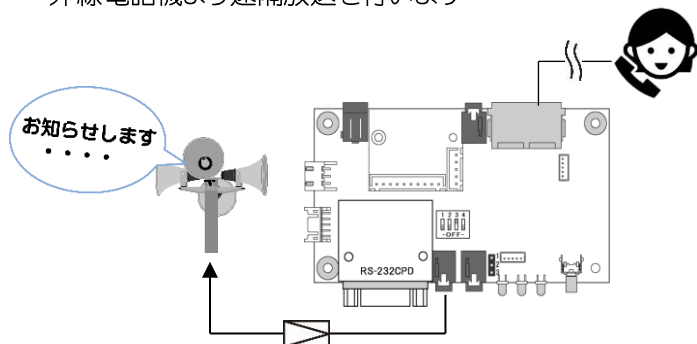


参考設定例集(ATコマンド編、設定ソフト編)

■「併設電話機の使い方あれこれ」参照

▼遠隔放送

外線電話機より遠隔放送を行います

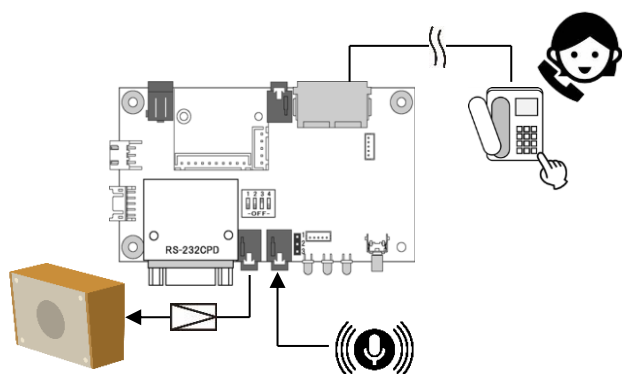


参考設定例集(ATコマンド編、設定ソフト編)

■「外線電話機から遠隔放送を行う」参照

▼送話／受話の切換え

回線接続中に、外線電話機のプッシュボタン操作で「相手先の音声モニター」と、「相手先への音声発生」を切換えて行います



参考設定例集(ATコメント編、設定ソフト編)

■ 「プッシュボタン操作で受話出力や送話入力の変換を行う」

TK-1660A TK-1660AV(音声メモリー搭載)

PCとのシリアル通信はRS-232C又はUSBにて行います

併設電話機の接続をサポートしています。
併設電話機を回線から切離すことが出来、併設電話機との通話が可能です。

回線エコーキャンセラーに加え、
音響エコーキャンセラーが使用可能

録音再生機能について
TK-1660AVは8/16ビットPCM可能

接続・切断ログに対応しています

TK-7590A TK-7590AV(音声メモリー搭載)

PCとのシリアル通信はRS-232Cにて行います

回線エコーキャンセラー使用可能

録音再生機能について
TK-7590AVは8ビットPCM可能